

## 第 32 回全国高校生建築製図コンクール実施要項

主催：東日本建築教育研究会

### 1 課 題

別紙のとおり

### 2 応募方法

#### (1) 応募できる作品数

課題ごとに各学校で審査した作品の中から、優秀作品を全・定課程別で3点以内とする。

#### (2) 図面の提出方法

課題ごとに指定された用紙に作図し、下記送付先に受付の締切日を厳守して送付する。

#### (3) 送付上の注意

①原図を破損しないように、次に指定する図面ケースを使用して送付する。

・図面ケースの指定:A2判を2つ折りにしたA3判の平板状のものとし、筒状は避ける。

②作品送り状は、各学校とも全・定課程別にまとめ、所定事項を記入したものを同封する。

・作品送り状の入手：当研究会のホームページよりダウンロードする。

③返送用伝票は、次に指定する着払いまたは料金を支払った伝票に必要事項を記入した後、それを同封する。(詳細は、別紙「応募作品の郵送・返送および賞状等の発送について」)

・返送用伝票の指定返却事務処理上、「ゆうパック」を希望する。

#### (4) 送 付 先

〒111-0051

東京都台東区蔵前1-3-57 TEL 03-3862-4488

東京都立蔵前工業高等学校 建築科 米川誠次 宛

#### (5) 受 付 締 切

平成25年11月5日(火)～11月8日(金) 必着とする。

#### (6) 参 加 登 録 料

会員校以外の参加校は、320円分(80円切手4枚)の切手を同封する。なお、領収書は後日審査結果の返送時に同封する。

#### (7) 返 送 方 法

同封していただいた返送用伝票(着払いまたは料金を支払った伝票)を使用して、応募作品・賞状等を送付する。ただし、各課題の金銀銅賞に該当した作品は返却しない。

### 3 審査方法

製図コンクール運営委員会において審査し、下記賞状ならびに副賞を授与する。

金 賞 課題ごとに各 1点

銀 賞 課題ごとに各 3点

銅 賞 課題ごとに各 6点

入 賞 課題ごとに各10点程度

奨励賞 金・銀・銅賞・入賞の作品を除くすべての応募作品に与える。

※金・銀・銅・入賞は、応募数により増減を考慮する。

### 4 その他

(1) 応募作品の著作権や工業所有権等は応募者の所有とする。ただし、作品の公開(展示・出版)については、当研究会が自由に行うことができるものとする。

(2) 作品送り状の記載欄にて、ホームページ等への記載を希望するか否かを○△×で必ず記入する。

(3) 賞状は、平成25年12月中旬に発送予定である。

第 32 回 全国高校生建築製図コンクール 課題 1 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成 25 年 11 月 5 日（火）～11 月 8 日（金）必着

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 1 学年 2 学年 定時制 1 学年 2 学年	ケント紙 A3 (297×420) 横使い	1 課題名 木造平家建専用住宅 (図 名) 軒先マワリ詳細図  2 要求図面 (尺度 1 : 5) (1) 軒先マワリ詳細図

1 注意事項

(1) 応募学年

全日制の 2 学年で応募できるのは、専門的な建築の学習を 2 学年から開始する総合学科や、2 学年からコース別選択をする学科等に在籍する生徒のみである。

(2) 作図上の注意

①「建築設計製図」(実数出版社刊)の製図例 1-1【新課程版 7 実教 工業 3 0 5】または製図例 1-6【旧課程版 7 実教 工業 0 1 9】の模写とする。

(注) 基本的に新課程版教科書の設計例を模写する。旧課程版の教科書を使用している場合は、旧設計例の模写でも可とする)

②模写の際には、最新の教科書 (生徒が購入をした教科書)を使用する。

③線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、それぞれの線を明瞭に力強く描く。

④教科書に印刷されている線の太さの使い分け(アスファルトルーフィングの線等)でも良い。

⑤文字の形状や大きさなどが不揃いにならないようにする。

⑥図形の正確さに留意する。

⑦天井高さの位置は、製図例 2-6 (新旧課程版とも同じ製図例番号)に基づくものとする。

⑧昨年度の講評に留意する。

⑨表題欄は、右下すみに作図する。(下図参照)

⑩鉛筆 (黒) で描く。

⑪JIS A 0150 建築製図通則を参照する。

2 失格事項

(1) 指定された用紙以外の作品

(2) 文字や数字等に型板を使用した作品

(3) ワープロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品

(4) インキングで仕上げた作品

課題 1	木造平家建専用住宅	学校名				
図 名	軒先マワリ詳細図	尺度		学科学年	氏 名	
20	60	20	30	20	50	20 40

第 32 回 全国高校生建築製図コンクール 課題 2 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成 25 年 11 月 5 日（火）～11 月 8 日（金）必着

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 1 学年 2 学年	トレース紙 A2 (420×594)	1 課題名 木造平家建専用住宅 2 要求図面（尺度 1：100）
定時制 1 学年 2 学年 3 学年	横使い	（1）配置図兼平面図 （2）立面図（南面および東面または西面の合計 2 面） （3）断面図（1 面） （4）屋根伏図 ※屋根伏図のみ尺度 1:100～1:200

1 作図上の注意

(1) 「建築設計製図」(実教出版社刊)の以下の製図例を参考にする。

【旧課程版 7 実教 工業 0 1 9】製図例 3-1, 製図例 3-2

(2) 各図における注意事項

①配置図は各自の計画とする。

- ・敷地面積は 350 m<sup>2</sup>以内とする。形状は各自が自由に設定する。
- ・敷地は平坦で、地盤面と道路面および隣地との高低差はないものとする。
- ・敷地と道路との関係は自由であるが、1 面は道路（幅員 6m）に接し、他面は隣地とする。
- ・ポーチ、テラス、スロープの計画は自由とする。
- ・造園計画、物置および普通乗用車 1 台分以上の駐車スペースを図示する。
- ・物置の大きさは特に制限しないが、適切な計画をする。
- ・浄化槽は不要とする。

②平面図は模写とする。

- ・ロフト等を設ける場合は、平面図に位置が分かるように表現する。
- ・断面図の切断位置を記入する。

③立面図や断面図は各自の計画とする。

- ・立面図や断面図の計画および表現に主眼を置く。

④屋根伏図は各自の計画とする。

- ・屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。
- ・教科書の製図例を参考にする。
- ・断面図の切断位置を記入する。

(3) その他

- ①図面の配列順序は自由であるが、配図に留意する。
- ②図面の種類および尺度は規定に従う。なお、要求図面以外は不要である。
- ③線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、それぞれの線を明瞭に力強く描く。また、文字の形状や大きさ、図形の正確さにも留意する。
- ④昨年度の講評に留意する。
- ⑤表題欄は、右下すみに作図する。(下図参照)
- ⑥鉛筆（黒）で描く。
- ⑦JIS A 0150 建築製図通則を参照する。

2 失格事項

- (1) 指定された用紙以外の作品
- (2) 文字や数字等に型板を使用した作品
- (3) ワークプロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品
- (4) インキングで仕上げた作品
- (5) 家具や床仕上げを表現した作品（製図例以外の書き込みは不要）

課題 2	木造平家建専用住宅			学校名			
図名		尺度		学科学年		氏名	
20	60	20	30	20	50	20	40

第 32 回 全国高校生建築製図コンクール 課題 3 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成 25 年 11 月 5 日（火）～11 月 8 日（金）必着

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 2 学年 3 学年 定時制 3 学年 4 学年	トレース紙 A2 (420×594) 横使い	1 課題名 木造 2 階建専用住宅 2 要求図面（尺度 1 : 100） （1）配置図兼 1 階平面図 （2）2 階平面図（平家がある場合には、1 階屋根伏図も記入） （3）立面図（南面および東面または西面の合計 2 面） （4）断面図（1 面） （5）屋根伏図（屋根伏図のみ、尺度 1 : 100～1 : 200） （6）面積表（建築面積・各階床面積・延べ面積のみ） （7）設計主旨（200 字～400 字とし、図面余白に記入）

1 作図上の注意

(1) 設計条件

- ①敷地は、地方都市の住宅地（第一種低層住居地域）にある平坦地であり、防火・準防火地域の指定はない。なお、建ぺい率の限度は 50%，容積率の限度は 100%，延べ面積は 160 m<sup>2</sup>未満とすること。また、地盤面、道路面、隣地との高低差は、下図の通りである。
- ②家族構成：老人夫婦，夫（会社員），妻，子供 2 人（男子高校生・女子中学生）
- ③設備：電気，ガス，上下水道は完備されている。
- ④その他：屋外駐車スペースを確保する。（延べ面積に算入しない）

(2) 各図における注意事項

①配置図兼各階平面図

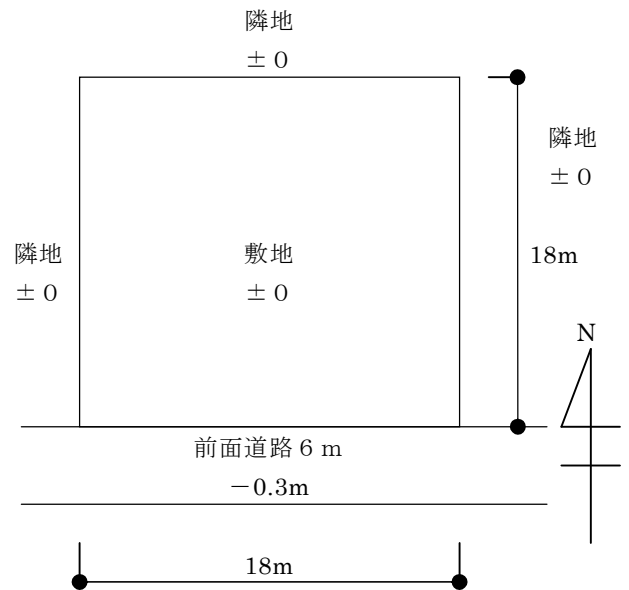
- ・構造に無理がない形状とする。
- ・敷地と道路との高低差（0.3m）に留意する。
- ・高齢者に配慮した計画とする。（階段には手すりを設ける。）
- ・室名をその室内に記入し、畳や家具その他必要と思われるものを明示する。
- ・平面図の壁は塗りつぶさず、柱等を図示する。
- ・断面図の切断位置を明示する。

②立面図および断面図

- ・屋根の形状に留意する。

③屋根伏図

- ・断面図の切断位置を明示する。



(3) その他

- ①図面の配列順序は自由であるが、配図に留意する。
- ②図面の種類および尺度は規定に従う。なお、要求図面以外は不要である。
- ③昨年度の講評に留意する。
- ④表題欄は、右下すみに作図する。（下図参照）
- ⑤鉛筆（黒）で描く。
- ⑥JIS A 0150 建築製図通則を参照する。

2 失格事項

- (1) 指定された用紙以外の作品
- (2) 文字や数字等に型板を使用した作品や、文字や数字等を下に敷いて写した作品
- (3) インキングおよび黒鉛筆以外で着色仕上げされた作品

課題 3	木造 2 階建専用住宅			学校名			
図名		尺度		学科学年		氏名	

20 60 20 30 20 50 20 40

第 32 回 全国高校生建築製図コンクール 課題 4 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成 25 年 11 月 5 日（火）～11 月 8 日（金）必着

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 1 学年 2 学年 3 学年	普通紙 A2 (420×594) 横使い	1 課題名 木造平家建専用住宅（CAD 製図） 2 要求図面（尺度 1：100） （1）配置図兼平面図 （2）立面図（南面および東面または西面の合計 2 面） （3）断面図（1 面） （4）屋根伏図 ※屋根伏図のみ尺度 1:100～1:200
定時制 1 学年 2 学年 3 学年		

1 作図上の注意

(1) 「建築設計製図」(実教出版社刊)の以下の製図例を参考にする。

【旧課程版 7 実教 工業 0 1 9】製図例 3-1, 製図例 3-2

(2) 各図における注意事項

①配置図は各自の計画とする。

- ・敷地面積は 350 m<sup>2</sup>以内とする。形状は各自が自由に設定する。
- ・敷地は平坦で、地盤面と道路面および隣地との高低差はないものとする。
- ・敷地と道路との関係は自由であるが、1 面は道路（幅員 6m）に接し、他面は隣地とする。
- ・ポーチ、テラス、スロープの計画は自由とする。
- ・造園計画、物置および普通乗用車 1 台分以上の駐車スペースを図示する。
- ・物置の大きさは特に制限しないが、適切な計画をする。
- ・浄化槽は不要とする。

②平面図は模写とする。

- ・ロフト等を設ける場合は、平面図に位置が分かるように表現する。
- ・断面図の切断位置を記入する。

③立面図や断面図は各自の計画とする。

- ・立面図や断面図の計画および表現に主眼を置く。

④屋根伏図は各自の計画とする。

- ・屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。
- ・教科書の製図例を参考にする。
- ・断面図の切断位置を記入する。

(3) その他

- ① 図面の配列順序は自由であるが、配図に留意する。
- ② 図面の種類および尺度は規定に従う。なお、要求図面以外は不要である。
- ③ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、文字の大きさ、図形の正確さにも留意する。
- ④ 昨年度の講評に留意する。
- ⑤ 表題欄は、用紙の右下すみに作図する。(下図参照)
- ⑥ 作品を 2 部提出する。(指定用紙は A 2 であるが、A 3 を 2 枚貼り合わせても可)
- ⑦ 過去に作成した CAD データの流用は行わない。
- ⑧ JIS A 0150 建築製図通則を参照する。

2 失格事項

- (1) 作品を 2 部提出していない場合
- (2) モノクロ印刷以外の作品
- (3) 平面図から自動的に立面図や断面図を描いた作品

課題 4	木造平家建専用住宅（CAD 製図）			学校名			
図名		尺度		学科学年	氏名		
20	60	20	30	20	50	20	40

第 32 回 全国高校生建築製図コンクール 課題 5 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成 25 年 11 月 5 日（火）～11 月 8 日（金）必着

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 2 学年 3 学年 定時制 3 学年 4 学年	A2 (420×594) 横使い ※色や紙質 は自由	1 課題名 木造 2 階建専用住宅（プレゼンテーション作品） 2 要求図面（尺度：自由） (1) タイトル (2) 設計主旨（200 字～400 字とし、図面の余白に記入する） (3) 配置図兼 1 階平面図（造園計画、駐車スペースを図示） (4) 2 階平面図（平家がある場合には、1 階屋根伏図も記入） (5) パースまたは模型写真 (6) 面積表（建築面積・各階床面積・延べ面積のみでよい）。 (7) その他立面図・断面図等必要と思われるもの。

1 作図上の注意

(1) CAD を利用したプレゼンテーション作品とする。

(2) タイトルに沿った建物全体像を表現する。

(3) 設計条件

①敷地は、地方都市の住宅地（第一種低層住居地域）にある平坦地であり、防火・準防火地域の指定はない。なお、建ぺい率の限度は 50%、容積率の限度は 100%、延べ面積は 160 m<sup>2</sup>未満とすること。また、地盤面、道路面、隣地との高低差は、下図の通りである。

②家族構成：老人夫婦、夫（会社員）、妻、子供 2 人（男子高校生・女子中学生）

③設備：電気、ガス、上下水道は完備されている。

④その他：屋外駐車スペースを確保する。（延べ面積に算入しない）

(4) その他

①図面の配列順序は自由であるが、配図に留意する。

②線、面ともにカラー出力でも可とする。

③手書きの図面をデータ化して貼り付けることは可とする。

④パースは内観でも外観でも可とする。

⑤作品の裏面右下に、学校名・学科・学年・氏名をレイアウトする。（手書きでも可）

⑥作品を 2 部提出する。（指定用紙は A 2 であるが、A 3 を 2 枚貼り合わせても可）

⑦昨年度の講評に留意する。

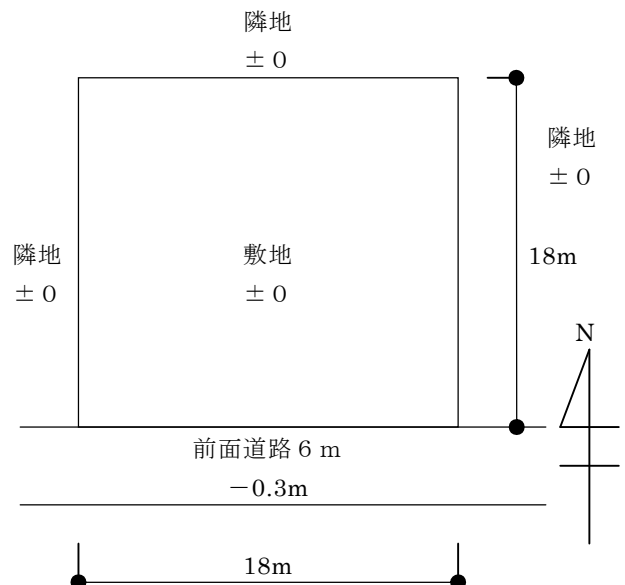
⑧過去に作成した CAD データの流用は行わない。

⑨ JIS A 0150 建築製図通則を参照する。

2 失格事項

(1) 作品を 2 部提出していない場合

(2) 模型の写真等をデータ化せずに  
そのまま貼り付けた作品



第 32 回 全国高校生建築製図コンクール作品送り状

学校名	高等学校		全日制 定時制
住 所	〒		
担当者 または 科長氏名	TEL		
	FAX		

課題番号	応募作品数 校内作品審査数	学科・学年	生徒氏名	※作品番号 記入しないでください	HP (○△×)
1 軒先マワリ 詳細図	_____				
2 木造平家建 専用住宅	_____				
3 木造 2 階建 専用住宅	_____				
4 木造平家建 専用住宅 (CAD 製図)	_____				
5 木造 2 階建 専用住宅 (プレゼンテーション作品)	_____				

1 記入上の注意

(1) 賞状への記載およびホームページ(HP)等への掲載時に訂正が無いように、以下の点に注意して記入して下さい。

①学校名は都道府県から正確に記入して下さい。

②学科、学年、生徒氏名は、略字や省略をせずに正確に記入して下さい。

③HP欄は、氏名と作品両方の掲載を希望する場合には「○」を、作品だけの掲載を希望する場合には「△」を、氏名も作品も掲載することを希望しない場合には「×」を記入して下さい。

(2) 統計のため、各課題別に校内選考作品審査数を分母に、応募作品数を分子に記入して下さい。

(3) 応募作品数は、各課題とも必ず3点以内として下さい。



応募作品の郵送・返送および賞状等の発送について

主催：東日本建築教育研究会

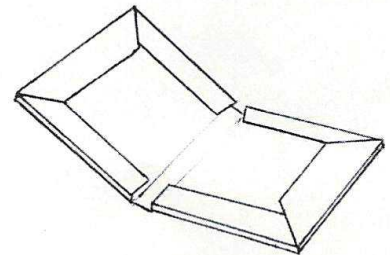
- 1 作品を発送していただく際に同封するもの
  - (1) 作品
    - ※各課題3点以内でお願いします。
  - (2) 作品送り状
    - ※ホームページよりダウンロードしてください。
  - (3) 着払い伝票
    - ※お届け先・依頼主の欄を記入してください。
    - ※返却事務処理上「ゆうパック」でお願いします。

■お届け先の欄は、貴校の郵便番号・おところ・おなまえ・でんわを記入してください。

■依頼主の欄は、以下のように記入してください。

郵便番号 111-0051  
 ところ 東京都台東区蔵前1-3-57  
 東京都立蔵前工業高等学校 建築科  
 なまえ 米川 誠次  
 でんわ 03-3862-4488

- 2 発送時の梱包ケース
  - (1) A2判を二つ折りにしたA3判のケース（右図参照）を使用して発送してください。  
 ※賞状を丸めずに返送できる等、取り扱いやすくなります。  
 ※筒状のものは避けてください。



- 3 担当者
 

関東第一高等学校 建築ビジュアル科	塩澤 泰	TEL 03-3653-1541
千葉県立京葉工業高等学校 建設科	卜部 寿々子	TEL 043-251-4197